

『J 溶管防災 Day』の制定と その取り組み

鋼管メーカーとしてのお客様への安定供給責任、社員の安全確保や会社の財産保護の観点から、当社では火災を極めて重大な事故として位置づけ、『決して風化させない』『二度と発生させない』との決意のもと、『次の世代にも継承する』ために、毎年3月20日を『J 溶管防災 Day』に制定しました。

この日に合わせて、社員全員が防災意識を高めるための火災事例集を用いた教育や、管轄消防署の指導を得て策定した実践的な訓練等を各製造所や事務所において実施しました。

火災を発生させないことが一番ですが、このような訓練等を通して、万が一発生しても被害を最小限に抑えることのできる防災面での意識や能力等をなお一層向上させていきます。

お客様への安心と信頼を築けるよう、また社員にとってもなくてはならないJFE 溶接鋼管を守り抜いていくように、新たな気持ちで社員一丸となり防災活動も展開していきます。

訓練の様子

【姉ヶ崎製造所】



火災発生場所の確認



初期消火対応



消防隊役へハザードマップを使用し、
火災発生場所の説明

【スリーケー製造所 伊勢原工場】



防災活動の主旨等説明



初動訓練

【スリーケー製造所 磐田工場】



消火栓による放水訓練

【知多製造所】